

小学校と連携した活動

※世帯数及び人口は令和 4 年 4 月 1 現在

東区	小学校区・地区名	浮田学区	世帯数	1,634 世帯	人口	3,801 人
----	----------	------	-----	----------	----	---------

■組織の概要

浮田学区は JR 上道駅付近から砂川までの農業地域と工場地帯また、開発団地も混在した地域です。

浮田学区安全・安心推進協議会は、主に学校園と連携して児童の安全や高齢者の見守りなど、安全で暮らしやすい地域をめざして活動しています。

■活動の取組内容

活動内容は交通安全・環境美化・防犯・防災など多岐にわたります。

特に平成 30 年、砂川の堤防決壊による水害は、浮田小学校が防災避難場所ではありますが、避難所としては実際には機能しないことを露呈しました。その経験も含め、令和 4 年 10 月 20 日、上道公民館との連携事業として、浮田小学校 4 年生の皆さんと「防災教室」を開催し、地域の皆さんと一緒に学ぶ機会をもちましたので、その報告をまとめてみました。

4 年生は、4 年前は幼稚園の年長さんでした。浮田幼稚園はその後閉園し、今は認定こども園になっています。



【上道公民館長の講義】

小学校に備蓄してある災害備品だけでは、到底、多くの避難してくる人の分は賄えないことから、個々の防災計画の見直し、防災リュックを準備しておくことの大切さなどを学んでいます。



【発泡ベッドの組み立て】

小学校の体育館に備蓄されているポップアップテントに発泡ベッドを組み立てて、主に障害のある方や赤ちゃんを連れたお母さんに使ってもらうと準備しています。段ボールベッドが、最近では、発泡製の物もあることに我々も感心しました。



【簡易トイレの使い方】

災害時に大変なのが、水洗トイレが使えなくなることです。みんなでできるだけ清潔に気持ちよく避難生活を送るにはどうしたら良いか、工夫することを学んでいます。

